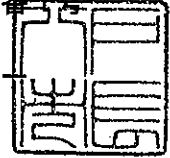


(様式例第11)

八市病第373号
令和4年9月20日

青森県知事 三村 申吾 様

住所 八戸市内丸一丁目1番1号
申請者
氏名 八戸市長 熊谷 雄一



八戸市立市民病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒031-8686 八戸市内丸一丁目1番1号
氏名	八戸市長 熊谷 雄一

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

八戸市立市民病院

3 所在の場所

〒031-8555 八戸市田向三丁目1番1号 電話 (0178) 72-5111

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
50床	26床	0床	0床	518床	594床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 患者監視システム装置、IABP装置、人工呼吸器、血液浄化装置、血液ガス電解質分析装置、携帯用超音波診断装置、自動体外式除細動器 病床数 6床
化学検査室	(主な設備) 多項目自動血球分析システム装置、生化学自動分析装置、臨床化学分析装置、全自動化学発光免疫測定装置、血液ガス分析装置、全自動輸血検査装置、血球計測装置、自動電気泳動装置、血液凝固測定装置、自動グリコヘモグロビン測定装置、自動グルコース測定装置
細菌検査室	(主な設備) PCR検査用自動測定装置
病理検査室	(主な設備) ウルトラマイクローム
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、照明装置、光学顕微鏡、洗濯機、遺体保管用冷蔵庫、臓器撮影装置
研究室	(主な設備) テーブル、椅子、パソコン、プリンター
講義室	室数 1室 収容定員 200人
図書室	室数 1室 蔵書数 2,727冊
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 m ² [共用室の場合] 薬局員室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	71.5%	算定期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	94.6%		
算出根拠	A：紹介患者の数		9,249人
	B：初診患者の数		12,927人
	C：逆紹介患者の数		12,223人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備 考
1	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
2	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
3	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
4	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
5	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
6	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
7	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
8	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
9	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
10	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
11	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
12	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
13	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
14	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
15	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
16	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
17	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
18	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
19	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
20	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
21	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分
22	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	7時間45分

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床		30床
専用病床		救命救急センター 30床 集中治療室 6床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
手術室	486㎡	(主な設備) 結石破碎システム、術中患者監視システム装置、全身麻酔器、KTP/YAGレーザー手術装置、血液ガス電解質分析装置、天井懸架型手術顕微鏡装置、鼻内内視鏡下手術器械、人工心肺装置、超音波手術装置、自己血回収装置、移動型X線テレビ装置、眼科用手術装置、眼科用手術顕微鏡、アルゴンレーザー光凝固装置、腹腔鏡下胆嚢摘出術器、顕微鏡下手術支援用内視鏡装置、脳外科用手術ナビゲーションシステム、血管結紮器	可
急患室	51㎡	(主な設備) ベッドサイドモニター、超音波診断装置、自動体外式除細動器、無影投、人工呼吸器	可
内視鏡室	48㎡	(主な設備) 電子内視鏡システム装置、7ルボンラズマ凝固付高周波手術装置、超音波内視鏡装置、カナル内視鏡撮影装置	可
放射線科	273㎡	(主な設備) MRI、CT、一般X線撮影装置、X線透視撮影装置	可
生理検査室	115㎡	(主な設備) 超音波診断装置、循環器用超音波診断装置、誘発電位検査装置、医用サーモグラフィ装置、肺機能測定装置、脳波計、ホルター心電図解析装置、総合呼吸機能自動解析装置、心電計、負荷心電図検査装置	可

血管撮影室	75㎡	(主な設備) 循環器血管造影撮影装置、頭腹部血管造影撮影装置、心臓電気生理検査解析装置、心臓カテテル検査装置、心機能解析装置、血管造影剤注入装置、経皮的補助循環装置	可
臨床検査室	727㎡	(主な設備) 多項目自動血球分析システム装置、生化学自動分析装置、臨床化学分析装置、全自動化学発光免疫測定装置、血液ガス分析装置、全自動輸血検査装置、血球計数装置、自動電気泳動装置、血液凝固測定装置、自動グリコヘモグロビン測定装置、自動グルコース測定装置	可
MEセンター	42㎡	(主な設備) 7ヶ所、輸液ポンプ、シリンジポンプ、低圧持続吸引器、小型携帯吸引装置、酸素・空気流量計、IPC装置	可
集中治療室	228㎡	(主な設備) 患者監視システム装置、IABP装置、人工呼吸器、血液浄化装置、血液ガス電解質分析装置、携帯用超音波診断装置、自動体外式除細動器	可
救命救急センター	586㎡	(主な設備) 患者監視システム装置、IABP装置、人工呼吸器、血液浄化装置、血液ガス電解質分析装置、熱傷用浴槽、熱傷用ベッド、携帯用超音波診断装置、自動体外式除細動器	可
NICU	54㎡	(主な設備) 新生児監視システム装置、血液ガス分析装置、小児用人工呼吸器、新生児保育器、新生児用聴力検査装置	可

4 備考

救命救急科において救急患者の受入れを行っている。

- ・平成9年9月 救命救急センター設置
- ・昭和43年9月 救急告示病院 指定

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692

号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	(5,528人 2,927人)
上記以外の救急患者の数	(13,497人 6,572人)
合計	(19,025人 9,499人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

① 令和3年度共同医療機関延べ数	80医療機関
② 上記①の医療機関のうち、開設者と直接関係のない医療機関の延数	80医療機関
③ 共同利用に係る病床の病床利用率	0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

①CT（コンピューター断層撮影装置） ②MRI（磁気共鳴断層撮影装置） ③RI（ラジオアイソトープ検査装置） ④骨塩定量 ⑤共同利用病床 ⑥講義室（講堂）
--

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 無
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：
 職種：

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙1のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	2床
--------------	----

(様式例第 15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

(1) 別紙2「令和3年度 地域の医療従事者への研修実績」参照				
(2) 別紙3「令和3年度 NST学習会開催実績」参照				
(3) 地域合同カンファレンス				
No	開催月日	研修会内容	院内参加者数	院外参加者数
1	11月19日	1 連携について ・経過報告 ・連携の課題と対策について 2 がんに関する医療提供体制や社会支援のあり方についての役割分担について	8	4

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	41回
(2) (1) の合計研修者数	116人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有・無
 イ 研修委員会設置の有無 有・無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	外科		51年	
	医師	救命救急科		39年	
	医師	神経内科		39年	
	医師	外科		32年	
	医師	消化器科・内科		30年	
	医師	消化器内視鏡科		25年	
	医師	循環器科・内科		23年	
	医師	呼吸器科・内科		34年	
	医師	内分泌糖尿病科・内科		21年	
	医師	糖尿病代謝内科		22年	
	医師	第一小児科		37年	
	医師	第二外科		22年	
	医師	第三外科		17年	
	医師	小児外科		27年	学術委員会委員長
	医師	呼吸器外科		25年	
	医師	乳腺外科		32年	
	医師	脳神経外科		37年	
	医師	神経内科		25年	
	医師	血管内脳神経外科		26年	
	医師	心臓血管外科		31年	
	医師	第一整形外科		28年	
	医師	第二整形外科		23年	
	医師	皮膚科		28年	
	医師	泌尿器科		13年	
	医師	産科		16年	
	医師	婦人科		18年	
	医師	婦人科内視鏡外科		22年	
	医師	眼科		36年	
	医師	耳鼻咽喉科		11年	

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	第一精神科		18年	
	医師	第二精神科		12年	
	医師	第一麻酔科		13年	
	医師	第二麻酔科		18年	
	医師	緩和医療科		31年	
	医師	第一放射線科		29年	
	医師	第二放射線科		31年	
	医師	臨床検査科		30年	
	歯科医師	歯科口腔外科		23年	
	医師	救命救急センター		33年	
	医師	救命救急センター		25年	
	医師	新生児集中治療センター長		16年	
	看護師	看護局管理室		38年	
	看護師	看護局管理室		34年	
	看護師	看護局管理室		30年	
	看護師	看護局管理室		24年	
	看護師	看護局管理室		38年	
	看護師	看護局管理室		35年	
	看護師	看護局管理室		33年	
	看護師	東6階病棟		30年	
	看護師	西4階病棟		24年	
	看護師	東5階病棟		30年	
	看護師	西3階病棟		26年	
	看護師	南病棟		31年	
	看護師	手術室		33年	
	看護師	G C U		27年	
	看護師	西7階病棟		24年	
	看護師	東3階病棟		22年	
	看護師	新周産期C外来		26年	
	看護師	西5階病棟		19年	
	看護師	西6階病棟		27年	
	看護師	東4階病棟		27年	

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	看護師長	緩和ケア病棟		32年	
	看護師	周産期センターA		29年	
	看護師	周産期センターB		30年	
	看護師	救命救急センターII		21年	
	看護師	救命救急センターI		32年	
	看護師	外来		24年	
	看護師	中央処置室		32年	
	看護師	急患室・放射線科		29年	
	看護師	外来		24年	
	看護師	地域医療連携室		36年	
	看護師	医療安全管理室		34年	
	薬剤師	薬局		31年	
	放射線技師	放射線科		24年	
	臨床検査技師	臨床検査科		32年	
	理学療法士	リハビリテーション科		31年	
	臨床工学技士	臨床工学科		31年	
	栄養士	栄養管理科		16年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設 備 概 要
内視鏡室	48m ²	(主な設備) 上部・下部電子内視鏡システム
放射線室	273m ²	(主な設備) CTスキャン、アンギオ装置、一般撮影装置
手術室	486m ²	(主な設備) 人工心肺装置、電気メス麻酔器、手洗装置
講義室(講堂)	306.63m ²	(主な設備) テーブル、椅子、マイク、スクリーン
研究室	28.46m ²	(主な設備) テーブル、椅子、パソコン
図書室	83.51m ²	(主な設備) テーブル、椅子、パソコン、蔵書

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテ内。紙媒体の記録に関しては、敷地内の各病棟、事務室、倉庫など。	電子カルテ内。 紙媒体の諸記録に関しては、各担当部署で保管・管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	管理課	
	閲覧実績	管理課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室、相談室等
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>1. 診療記録の閲覧について (医師)</p> <p>(1) 閲覧を希望する場合は「病歴資料閲覧許可書」を記入し診療局事務に提出</p> <p>(2) 事業管理者決裁後、許可書を診療情報管理室に提出し、閲覧用のIDを発行</p> <p>(3) 閲覧室もしくは医局にて当院職員立ち合いのもと閲覧する</p> <p>2. 診療記録の閲覧について (患者等)</p> <p>(1) 閲覧を希望する場合は「診療記録提供申出書」を記入し医事課に提出</p> <p>(2) 事業管理者決裁後、閲覧承諾となった際は閲覧希望者に連絡し、閲覧の日時を調整する</p> <p>(3) 閲覧室等にて当院職員立ち合いのもと閲覧する</p> <p>3. 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧について</p> <p>(1) 閲覧を希望する場合は、希望する内容を各担当部署に伝える</p> <p>(2) 事業管理者決裁後、閲覧承諾となった際は閲覧希望者に連絡し、閲覧の日時を調整する</p> <p>(3) 閲覧室等にて当院職員立ち合いのもと閲覧する</p>	

前年度の総閲覧件数		3件
閲覧者別	医師	3件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第 18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	
委員会における議論の概要		
① 第34回 八戸市立市民病院地域医療連携推進協議会（令和3年6月）（紙上会議） ② 第35回 八戸市立市民病院地域医療連携推進協議会（令和3年10月）（紙上会議） ③ 第36回 八戸市立市民病院地域医療連携推進協議会（令和3年12月15日） ④ 第37回 八戸市立市民病院地域医療連携推進協議会（令和4年2月）（紙上会議）		
※議論の概要等については別紙4-①～④を参照		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	1階相談室・その他（病棟説明室） など
主として患者相談を行った者 （複数回答可）	
患者相談件数	19,092件
患者相談の概要	
別紙5「医療相談状況」のとおり	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第19-2) 地域における医療の確保を図るために特に必要であるものとして都道府県知事が定めた事項

都道府県知事が定めた内容
特になし
実施状況
特になし

(様式例第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	
審査体制区分	認定時期
一般病院種別B	平成12年4月17日～平成17年4月16日
Ver. 4.0	平成17年4月17日～平成22年4月16日
Ver. 6.0	平成22年4月17日～平成27年4月16日
3rdG : Ver. 1.0	平成27年4月17日～平成32年4月16日
3rdG : Ver. 2.0	令和2年4月17日～令和7年4月16日
上記4回とも、(財)日本医療機能評価機構による評価を受けている	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有 無
・情報発信の方法、内容等の概要	
①病院広報誌「わ」にて病院の情報を地域の医療機関に発信している	
②八戸市の広報にて予約制について周知を図っている	
③毎月、希望している地域の医療機関に対してメールにて情報配信を行っている	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有 無
・退院調整部門の概要	
地域医療連携室に退院支援グループを設置し、看護師、医療ソーシャルワーカーを配置している	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有 無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容	
①脳卒中地域連携診療計画書、大腿骨頸部骨折地域連携診療計画書	
②がん (胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝臓がん、緩和ケア)	
・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み	
③ がん当院医師に対して、地域連携パスを使用するように周知 (不定期) している	
④ 地域連携診療計画書に関する運用検討会 (年3回参加)	

登録医療機関名簿
(同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ)

No.	医療機関名称	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
1	ABEビルクリニック	阿部 一郎	八戸市本徒士町10-2	内、小	無
2	相沢耳鼻咽喉科医院	相沢 宏	八戸市根城五丁目2-7	耳、気管食道	無
3	あらい整形外科リハビリテーションクリニック	荒井 俊治	八戸市柏崎五丁目5-17	整、リウマチ、リハ	無
4	石田温泉病院	石田 博文	おいらせ町上前田21-1	内、神、呼、胃、腸、放、リハ、内分	無
5	おいらせ病院	おいらせ町長	おいらせ町字上明堂1-1	内、小、外、整	無
6	大里脳神経リハビリテーションクリニック	大里 孝夫	八戸市新井田西三丁目15-15	脳、神内、内、リハ	無
7	おっとも脳神経クリニック	乙供 通則	八戸市柏崎四丁目14-48	脳、放、内、神内、リハ	無
8	於本病院	於本 淳	八戸市大工町10	内	無
9	春日井内科医院	春日井 清	八戸市小中野四丁目5-16	内	無
10	かねた内科耳鼻科医院	金田 昭治	八戸市本鍛冶町1	内	無
11	川守田外科胃腸科	川守田 究	南部町大字剣吉字堰合13-2	外、内、小、皮、肛	無
12	きく皮膚科	山谷 真吾	八戸市河原木字谷地畑118-5	皮	無
13	きくち眼科	菊地 泰弘	八戸市大字三日町30番地1 アクスビル2階	眼	無
14	岸原病院	岸原 千秋	八戸市柏崎六丁目29-6	内、呼、循、胃、神内、リハ	無
15	北村耳鼻咽喉科医院	北村 箴至	八戸市小中野三丁目1-30	耳	無
16	きどクリニック	城戸 啓治	八戸市田向五丁目22-1	泌、内、外	無
17	くどう整形外科クリニック	工藤 祐喜	八戸市売市四丁目7-14	整、リハ	無
18	倉本クリニック	倉本 雅規	八戸市廿六日町3 八青パーキングビル1F	婦、産	無
19	小松内科医院	小松 修	階上町道仏字天当平1-189	内、消、循、理	無
20	境皮膚科医院	境 繁雄	八戸市売市二丁目3-9	皮	無
21	坂本内科クリニック	坂本 良明	八戸市吹上三丁目6-16	内	無
22	佐々木泌尿器科病院	佐々木 桂一	八戸市根城四丁目6-23	泌、神、肛、内	無
23	下田診療所	渡邊 珠夫	おいらせ町向川原3-55	内、消	無
24	城下やえがき整形外科	八重垣 誠	八戸市城下四丁目4-18	整	無
25	菅原内科	菅原 英保	八戸市大字窪町4	内、循、呼、消	無
26	洲崎耳鼻咽喉科気管食道科医院	洲崎 啓治	八戸市内丸三丁目2-8	耳、アレ、気管、食道	無
27	鈴木内科	鈴木 竹一	八戸市尻内町字八百刈26-3	内	無
28	スワンクリニック	小笠原 和人	南部町沖田面木字千刈37-1	整、外科、小	無
29	青南病院	千葉 潜	八戸市田面木字赤坂16-3	精、神、心内、内	無
30	聖マリアハートクリニック	吉田 一弘	八戸市東白山台三丁目20-3	循	無
31	せきあい内科	堰合 恭弘	八戸市河原木字谷地畑121-4	内、循、消、呼	無
32	関口内科クリニック	関口 孝	八戸市大久保字西ノ平25-72	内、呼、循、小、麻	無
33	高橋医院	高橋 秀禎	八戸市番町40	内、呼、胃、外、肛、放	無
34	滝沢小児科内科医院	滝沢 鷹太郎	八戸市根城五丁目2-16	小、内、アレ	無
35	種市外科	種市 襄	八戸市小中野一丁目3-21	外、整	無
36	巴小児クリニック	巴 朝夫	八戸市下長四丁目10-33	小	無
37	内科種市病院	鳥畑 鴻次	八戸市大字是川字土間沢1	内	無
38	なかざわスポーツクリニック	医療法人なかざわ整形外科	八戸市湊高台二丁目12-2	整、リハ、リウマチ	無
39	中園内科クリニック	中園 誠	八戸市田向二丁目5-28	内	無
40	中野眼科	中野 美奈	八戸市新井田西三丁目19-2	眼	無
41	南郷診療所	八戸市長	八戸市南郷区島守梨子ノ久保25-3	内、歯	無
42	ナンブクリニック	陰山 俊之	南部町沖田面字千刈47-1	内、胃、外、整、リハ	無

No.	医療機関名称	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
43	南部町医療センター	南部町長	南部町大字下名久井字白山87-1	内、外、小、産、皮膚、アレルギー、眼科、歯	無
44	南部病院	小笠原 博	南部町沖田面字千刈36-2	内、胃、小、外、整、リハ	無
45	西村産婦人科クリニック	西村 幸也	八戸市小中野四丁目8-18	産、婦	無
46	西村耳鼻咽喉科医院	西村 哲郎	八戸市南類家二丁目17-28	耳、アレ	無
47	はかまだ耳鼻咽喉科医院	袴田 勝	八戸市大字河原木字谷地畑120-1	耳	無
48	橋本耳鼻科クリニック	橋本 敏光	八戸市湊高台五丁目20-18	耳	無
49	はしもと小児科	橋本 剛	八戸市新井田西三丁目16-15	小	無
50	長谷川内科胃腸科医院	長谷川 泰正	八戸市上徒士町2-1	内、胃	無
51	はち内科・消化器内科クリニック	八森 久	八戸市類家四丁目21-7	内、消	無
52	はちのへ99クリニック	藤川 博康	八戸市南類家五丁目1-8	外、消、内、肛	無
53	八戸クリニック	和田 潤郎	八戸市柏崎一丁目8-32	産婦人科	無
54	はちのへ江陽クリニック	三浦 浩康	八戸市江陽二丁目13-45	腎、泌、内、外	無
55	八戸在宅クリニック	山名 保則	八戸市大字岩泉町7	内	無
56	八戸生協診療所	八戸医療生協共同組合	八戸市南類家一丁目17-2	内、消、循、呼、神内、放	無
57	八戸整形外科	朴 鍾大	八戸市日計一丁目2-42	整、リウマチ、リハ	無
58	八戸市総合健診センター	八戸市長 小林 眞	八戸市青葉二丁目17-4	健診	無
59	八戸新井田クリニック	池田 成徳	八戸市新井田字後庵下12	泌、皮、内、麻	無
60	メディカルコート八戸西病院	公益財団法人リハビリテーション協会	八戸市大字長苗代字中坪77	内、腎、神、外、整、皮膚、泌、麻、リハ	無
61	はちのへハートセンタークリニック	菊池 文孝	八戸市田向二丁目1-2	循	無
62	国立病院機構 八戸病院	及川 隆司	八戸市吹上三丁目13-1	内、循、小、リハ	無
63	はちのへファミリークリニック	小倉 和也	八戸市城下四丁目11-11	内、小	無
64	はまなす医療療育センター	青森県知事	八戸市大久保字大塚17-729	整、小、リハ	無
65	はらだクリニック	原田 英也	南部町大字苦米地字白山堂13-2	外、内	無
66	東八戸病院	秋山 弘之	八戸市大字大久保字西ノ平25-440	神、精、循、内	無
67	ひかり内科クリニック	金田 泰一	八戸市青葉三丁目31-5	内	無
68	吹上眼科	久保 勝文	八戸市吹上二丁目10-5	眼	無
69	本田整形外科クリニック	本田 忠	八戸市小中野二丁目9-4	整、リハ、リウマチ	無
70	松橋眼科クリニック	松橋 英昭	八戸市売市二丁目12-32	眼	無
71	丸山クリニック	丸山 章	八戸市湊高台五丁目24-3	外、内、肛	無
72	みうらクリニック	三浦 博光	階上町蒼前西三丁目9-3177	内、小、外	無
73	みちのく記念病院	杏林会	八戸市小中野一丁目4-22	内、循、呼、リハ、標、神、心	無
74	岬台医院	品川 博樹	八戸市岬台二丁目6-5	内、消	無
75	湊病院	工藤 清太郎	八戸市大字新井田字松山下野場7-15	内、消、外、精、齒、リハ、心、泌	無
76	南類家整形外科クリニック	栗崎 和之	八戸市南類家四丁目2-30	整、リハ、リウマチ	無
77	総合リハビリ美保野病院	渡邊 一夫	八戸市大久保字大山31-4	内、神、精、整、リハ、小、歯	無
78	村井内科クリニック	村井 千尋	八戸市吹上三丁目5-3	内、リウマチ、呼、循	無
79	村田内科	村田 貞幸	八戸市新井田西二丁目7-8	循、内	無
80	室岡整形外科記念病院	室岡 孝信	八戸市長者三丁目3-23	整	無

令和3年度地域の医療従事者への研修実績

開催日	講師	部	演題	場所	院外医療従事者 (a)	院内研修医 (b)	院内その他 (c)
4月8日(木)	今 明秀先生	第1部 第2部	劇的救命	講堂1・2	1	24	3
5月6日(木)	三國谷 由貴先生 工藤 貴徳先生	第1部 第2部	耳鼻咽喉科 糖尿病代謝内科	講堂1・2	2	28	6
5月13日(木)	今 明秀先生	講習会	気管挿管・胃管挿入実習	講堂1・2	3	21	4
5月20日(木)	臨床検査科	第1部 第2部	腹部エコー	生理検査室 9-③	2	20	1
6月17日(木)	堀内 大輔先生	第1部 第2部	不整脈	講堂1・2	1	23	13
8月12日(木)	東北大学病院 呼吸器内科 准教授 玉田 勉先生	講演会	研修医完成講座特別講演会	講堂1・2 18:00~20:00頃	3	22	3
8月19日(木)	鈴木 一郎先生	第1部 第2部	脳神経外科	講堂1・2	2	17	3
8月26日(木)	松倉 理佳子先生 宮崎 勇希先生	第1部 第2部	放射線科2 外科	講堂1・2	2	23	3
9月30日(木)	弘前大学大学院医学研究科 放射線診断学講座 教授 掛田 伸吾先生	講演会	研修医完成講座特別講演会	講堂1・2 18:00~20:00頃	2	25	4
10月7日(木)	佐藤 智行先生	第1部 第2部	小児外科	講堂1・2	1	21	4
10月28日(木)	河原井 駿一先生	第1部 第2部	大動脈解離 (心臓血管外科)	講堂1・2	1	20	18
11月11日(木)	齋藤 桂子先生 村井 孝弥先生	第1部 第2部	眼科 皮膚科	講堂1・2	1	23	1
11月25日(木)	田中 宏典先生 田中 創太先生	第1部 第2部	産科 婦人科	講堂1・2	2	24	1
12月9日(木)	松倉 理佳子先生 呼吸器外科	第1部 第2部	放射線科4 呼吸器外科	講堂1・2	1	28	3
12月16日(木)	差波 新先生	第1部 第2部	小児科	講堂1・2	1	27	1
1月6日(木)	長沖 隼英先生 小野 浩弥先生	第1部 第2部	整形外科	講堂1・2	1	22	3
1月13日(木)	坂井 孝成先生 田野崎 真人先生	第1部 第2部	泌尿器科 神経内科	講堂1・2	1	20	1
2月10日(木)	伊沢 朋美先生	第1部 第2部	Fever work up	講堂1・2	1	20	1
2月17日(木)	米盛病院 副院長 富岡 謙二先生	講演会	中毒講習会	講堂1・2 17:30~20:30頃	1	19	4
2月24日(木)	沖 元二先生	第1部 第2部	消化管出血	講堂1・2	1	20	3
				小 計	30	447	80

合 計	(a)+(b)+(c)	557
-----	-------------	-----

令和3年度 NST 学習会開催実績

実施月日	16:00～17:00 学習会 I 内容	参加人数	17:15～18:45 学習会 II 内容	参加人数
7月14日	栄養アシスタント・スクリーニング、身体計測演習 中田主任栄養士	7名 (院外4名、院内3名)	栄養療法について 工藤 NST 委員長	9名 (院外4名、院内5名)
8月4日	栄養状態の指標となる検査データ 板倉主任臨床検査技師	9名 (院外4名、院内5名)	PEG 管理 冲消化器科医師	9名 (院外4名、院内5名)
8月18日	褥瘡の栄養管理について 中田主任栄養士	6名 (院外4名、院内2名)	経腸栄養剤の基本知識 ネスレ日本 渡邊 真司氏	8名 (院外4名、院内4名)
9月29日	水と電解質 株式会社テルモ 山内優太氏	7名 (院外4名、院内3名)	経静脈・経腸・経口栄養の「フロンク」と「モクソング」 株式会社テルモ 山内優太氏	8名 (院外4名、院内4名)
10月13日	経静脈栄養剤の投与方法と薬剤配合変化 田中薬剤師	7名 (院外4名、院内3名)	褥瘡の発生機序とその治療・ケアについて 沼野主任看護師	8名 (院外4名、院内4名)
10月27日	症例報告について① 中田主任栄養士	6名 (院外4名、院内2名)	口腔ケアについて 長内歯科口腔外科医師	13名 (院外6名、院内7名)
11月10日	症例報告について② 中田主任栄養士	6名 (院外4名、院内2名)	嚥下訓練について 浜谷言語聴覚士	9名 (院外4名、院内5名)
11月24日	輸液適正調剤法と簡易懸濁法 田中薬剤師	7名 (院外4名、院内3名)	TPN と PPN 株式会社大塚製薬工場 堺 哲夫氏	8名 (院外4名、院内4名)
12月22日	病態別栄養療法 中田主任栄養士	6名 (院外4名、院内2名)	摂食・嚥下障害の治療について 三國谷耳鼻咽喉科医師	8名 (院外4名、院内4名)
1月23日	症例報告について③ 中田主任栄養士	6名 (院外4名、院内2名)	在宅栄養について 工藤 NST 委員長	8名 (院外4名、院内4名)
計		67名 (院外40名、院内27名)		88名 (院外42名、院内46名)

令和3年度医療相談状況

医療、福祉相談

項目	件数
経済的問題	594
心理的問題	100
社会的問題	1
受診・受療相談	1,444
家族関係	185
社会復帰	114
介護相談	567
転院調整	8,635
施設入所	1,690
自宅退院	5,164
その他	0
小計	18,494

その他

項目	件数
苦情	101
小計	101

合計 19,092

がん相談

項目	件数
がんの治療	37
がんの検査	9
症状・副作用・後遺症	136
セカンドオピニオン(一般)	8
セカンドオピニオン(受入)	1
セカンドオピニオン(他へ紹介)	8
治療実績	0
臨床試験・先進医療	0
受診方法・入院	10
転院	21
医療機関の紹介	5
がん予防・健診	4
在宅医療	1
ホスピス・緩和ケア	31
生きがい・価値観	0
食事・服薬・入浴・運動・外出など	13
介護・看護・療育	16
社会生活(仕事・就労・社会保障制度)	17
医療費・生活費・社会保障制度	84
補完代替療法	0
不安	79
告知	0
医療者との関係・コミュニケーション	12
患者-家族間の関係・コミュニケーション	2
友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション	0
患者会・家族会(ピア情報)	0
その他	3
不明	0
小計	497